1　安城市勢

人　　口	188,645人　　（令和5年4月1日現在）
世 帯 数	78,352世帯　　（　　〃　　）
市　　域	面積86.05㎢　　南北13.7㎞　　東西10.6㎞
位　　置	東経137度4分49秒　　北緯34度57分31秒

安城市は、昭和27年5月5日に市制を施行し、県下13番目の市として誕生、令和4年に市制施行70周年を迎えました。農業都市として発展してきましたが、中部経済圏の中心、名古屋市の通勤圏内という地理的条件に恵まれ、昭和35年ごろから工場の進出、住宅団地の建設が盛んになり、急速に都市化が進んできました。施行当時3万7千人余であった人口は、令和5年4月現在18万8千人余となっています。

市内には、田園風景が多く見られ、明治用水の豊かな水に育まれ、かつては「日本デンマーク」とうたわれ全国に名を広めました。今でも、この精神は受け継がれ、農作業の大型機械化、地域営農システムなど都市近郊型農業の先進地となっており、稲作、観葉植物、果樹などを栽培し、なかでもイチジクは有数の産地となっています。

工業では、自動車関連企業をはじめとする大企業の進出により、令和3年には企業数は444、製造品出荷額は1兆9,320億円余で、出荷額の県内順位は第3位となりました。

商業では、人口の増加と交通網の整備に伴い大型店舗が進出し、令和2年の販売額は6,417億円余で、従来からの駅前商店街と郊外型の複合商業施設との共存をめざしています。

平成9年には安城産業文化公園「デンパーク」を開園し「花のある心豊かな暮らし」を提案するとともに、平成10年に「地球にやさしい環境都市宣言」、平成12年にはISO14001の認証取得と、農・工・商業のバランスのとれたまちとなっています。

第8次総合計画では、めざす都市像を「幸せつながる健幸都市・安城」とし、前計画で先進的に展開した環境への取組を継続しています。

また、令和5年放送の大河ドラマ「どうする家康」を活用し、家康ゆかりの地である本市の魅力をＰＲするなどのシティプロモーションに取り組んでいます。